

東京 2020 に向けたアスリート・観客の暑さ対策に係る
関係府省庁等連絡会議(第5回)

議事概要

1. 日時：平成 30 年 6 月 7 日（木）9：30～10：15
2. 場所：中央合同庁舎第 4 号館 12 階 全省庁共用 1214 会議室
3. 出席者：

鈴木 俊一 東京オリンピック・パラリンピック担当大臣

【議長】

平田 竹男 内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部
事務局長

【構成員】

平垣内 久隆 内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部
事務局企画・推進統括官

黒田 亮 内閣府大臣官房審議官（科学技術・イノベーション担当）

野本 祐二 消防庁救急企画室長

宮川 学 外務省大臣官房国際文化交流審議官

大山 真未 文部科学省大臣官房審議官（研究開発局担当）

齋藤 福栄 スポーツ庁スポーツ総括官

風間 信之 厚生労働省健康局健康課地域保健室長

鈴木 良典 農林水産省大臣官房生産振興審議官

小瀬 達之 経済産業省大臣官房審議官（商務・サービス担当）

東 潔 国土交通省大臣官房審議官（道路局担当）

瓦林 康人 観光庁審議官

後藤 浩平 気象庁総務部長

江口 博行 環境省大臣官房審議官（水・大気環境局、放射性物質汚染対策担当）

梅田 珠実 環境省大臣官房環境保健部長

吉村 憲彦 東京都環境局次長

田中 彰 東京都オリンピック・パラリンピック準備局運営担当部長

井上 恵嗣 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
大会準備運営第一局長

4. 議事要旨

- ・冒頭、鈴木東京オリンピック・パラリンピック担当大臣より挨拶。

【鈴木大臣】

東京大会の開会まであと 2 年余りとなりました。5 月 29 日にオリパラ推進本部が開催されましたが、本部長である総理から「暑さ対策は急務の課題である」とのご発言がありました。大会の成功に向けて、具体的な準備を加速しなければなりません。また、2020 年の今頃は、全国で聖火リレーや文化プログラム等の関連イベントが行われており、暑さ対策を徹底していただく必要があります。政府においては、競技会場の暑さ指数の実測調査を

行うとともに、全国の暑さ指数を、熱中症予防情報サイトで英語でも公表しています。特に日本の夏の暑さに慣れていない外国人に対しては、このようなデータも活用し、熱中症の予防・対処法などの情報を、訪日前から広く発信するとともに、救護体制の整備等を進める必要があります。また、実際に対策を行う自治体や事業者等に対しては、本年3月に策定された暑さ対策に係るガイドラインやリーフレット等を積極的に活用いただき、暑さ対策をしっかりと進めていただくことが重要です。東京大会は暑さが厳しい時期に開催されますが、関係者一体となって、街づくりの一環としての暑さ対策をハード・ソフト両面から推進し、日本の暑さ対策がオリパラのレガシーの一つとなるよう、着実に実施してまいりたいと考えています。みなさんには、本日の会議でそれぞれの取組状況や課題を共有し、2年後の大会本番に向けて、なお一層の取組の推進をお願いします。

- ・ 議事1について、事務局より資料1に基づき、「東京2020に向けたアスリート・観客の暑さ対策に係る関係府省庁等連絡会議の開催について」の一部改正について報告。
- ・ 議事2について、事務局より資料2に基づき、「外国人等に対する熱中症等関連情報の提供のあり方に係るワーキンググループの報告」について報告。
- ・ 議事3について、各府省庁等より資料3に基づき、「関係府省庁等における取組状況」について報告。
 - （内閣府）より精度の高い降雨量の観測が可能なマルチパラメータフェーズドアレイ気象レーダの設置と今後の実証実験の予定について報告。
 - （消防庁）熱中症予防対策等の普及啓発の多言語化、救急隊用の多言語コミュニケーションツールの導入、聴覚・言語機能障害者を対象とした音声によらない119番通報の導入、外国人を対象とした119番通報の多言語化について報告。
 - （スポーツ庁）スタジアム内に風を取り込む「風の大庇」と「風のテラス」、観客席での体感温度を低減させる「気流創出ファン」、外部空間の温度を下げる「ミスト冷却装置」等、新国立競技場の設備について報告。
 - （厚生労働省）関係省庁や地方自治体と協力した熱中症予防などの情報の発信、東京都や消防庁等と連携した応急体制の整備、医療機関の外国人患者受入れ体制の整備について報告。
 - （農林水産省）壁面緑化等の暑熱対策技術の実証・研究等の効果についての情報収集及び情報提供について報告。
 - （経済産業省）「観光予報プラットフォーム」を活用した暑さ情報の提供の検討状況、建物等の温度や体温の上昇抑制に資する技術シーズの活用可能性の検討状況について報告。
 - （国土交通省）「アスリート・観客にやさしい道の検討会」の提言に基づく暑さ対策として、路面温度上昇抑制機能を有する舗装の施工、大会に向けた最適な緑陰形成について報告。
 - （観光庁）プッシュ型情報発信アプリによる外国人等に対する熱中症等関連情報の発信、

外国語診療が可能な医療機関の拡充について報告。

(気象庁)「ひまわり8号・9号」やスーパーコンピューターを活用した気象情報の更なる予測精度の向上や充実として、「2週間先までの気温予報」等の提供の予定、外国人等に対する高温注意情報等の熱中症関連情報の発信について報告。

(環境省水・大気環境局)競技会場等14地区程度を対象とした暑熱環境の調査や暑さ指数の推計手法の確立のための事業、「まちなかの暑さ対策ガイドライン(改訂版)」等を用いた効果的な暑さ対策とその実施における留意点などの周知について報告。

(環境省環境保健部)熱中症対策についてのマニュアル等の作成配布、熱中症対策に関するイベント等の開催について報告。

(東京都環境局)マラソン沿道等の暑さ対策、医療機関における外国人受入体制の整備、暑さ対策に係る技術の導入促進等について報告。

(東京都オリンピック・パラリンピック準備局)都が整備する競技会場の暑さ対策、競技会場の整備状況について報告。

(東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会)観客、ワークフォース、選手向けの暑さ対策の検討ポイントについて報告。

- ・ 議事4について、事務局より資料4に基づき、「東京2020に向けたアスリート、観客等の暑さ対策に係る関係府省庁等の取組」について説明。了承。

【平田議長】

本日は非常に重要な取組を決定していただきまして、大変ありがとうございました。この暑さ対策が2020年のオリパラに向けて、最も重要なかつ深刻な対策でございまして、関係府省庁等の皆様の多大なご協力をいただき感謝いたします。あと2年ということではありませんけれども、いよいよ実証から実装へよりしっかりと進めて、素晴らしい2020年を迎えたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

- ・ 閉会